

<副業> コロナ時代の新しい働き方

現在、新型コロナウイルスの影響により日本の経済は大きな打撃を受けています。特に業績悪化に伴い、収入の減少や失業などのケースも多く、テレワークが増えたいま副業に関心を持つ労働者が増え続けています。

また、2018年に厚生労働省が副業に関して「原則禁止」から「原則自由」に政策変更をした事で、多くの企業が副業を**解禁**しました。



副業には実際どのようなメリットがあるのか。企業側と労働者側の**メリット・デメリット**は下記が考えられます。

<企業側>

メリット	デメリット
離職せずやりたいことにチャレンジできるので、人材の定着率があがる。	本業を退職し、副業のほうへ転職してしまう可能性がある。
副業で得た知識・スキル・経験がプラスとなり、業務の質が上がる。	副業・兼業による疲労で、本業の業務に支障をきたす場合がある。

<労働者側>

メリット	デメリット
収入の増加	長時間労働の場合、時間・体調の管理が難しくなる。
本業では得られない知識・スキル・経験を得られる。	労働時間が短い業務を複数行う場合は、雇用保険の適用がないことがある。

副業では収入増加と同時に、本来は得られない**経験やスキル**を身につけられるというメリットがあり、労働者側にはデメリットよりメリットが多い印象です。2018年の「働き方改革」以来コロナ禍をきっかけに「副業」が身近になりました。

副業の現状—労働者の理想と現実

副業を解禁する企業が拡大し、多くの労働者にとって副業が身近な存在になる中、20代～60代の男女に副業をしたいと思うか？を問うアンケートでは、全体の約4割、そして若い層が副業について前向きな回答をしています。

また副業をしている・したいと思う層にその理由を尋ねたところ、スキルアップ等の自己成長的な側面よりも、「生活費の捻出」「お小遣いの為」など収入源を増やすことで「**生活にゆとりをもたせたい**」ということを意識する労働者が多いことがわかりました。

		したいと思う	したいと思わない
全体		38.4%	61.6%
性別	男性	40.3%	59.7%
	女性	36.5%	63.5%
年代別	20代	47.5%	52.5%
	30代	42.2%	57.8%
	40代	44.7%	55.3%
	50代	32.2%	67.8%
	60代	26.4%	73.6%

副業をしている労働者の実際の副業による月間収入額と、これから副業をしたい労働者の理想の月間収入額を比較したグラフでは、その収入の「理想」と「現実」に差がみられる結果となりました。

